

暮らしにぼっちり通信

2024
6・7
月号

海へ、山へ、車で約25分。都会と田舎、両方の魅力をほどよく持った高知市の暮らしをご紹介します。



第50回土曜夜市

高知市の中心商店街で 6月29日(土)から「第50回土曜夜市」が始まりました。7月27日(土)までの全5回開催!

帯屋町商店街や大橋通り商店街、京町・新京橋商店街などを会場とした土曜夜市(よいち)が今年も開催。2024年は6月29日から7月27日までの毎週土曜日、全5回開催予定です。かき氷や焼き鳥などのグルメをはじめ、射的・くじ引きなどたくさんの出店が所狭しと並びます。商店街はアーケードになっており、雨が降っても気にせず楽しめるのが嬉しい!毎週末がお祭りのようで、期間中はたくさんの方で賑わう高知市の名物イベントです。

ちょっとディープな 土佐弁講座 今月のひと言 「へち」

【意味】本筋からそれた別の方向
はずれた端のほう



へちへ行った!
(あっちにいった「投げ」の失敗した)

今月の高知速報

梅雨に突入したものの、そこまで雨天が多い訳でもなかった6月。7月の頭には蝉の鳴き声が聞こえ始め、高知の街はすっかり暑い夏の様相を呈しています。高知の夏の風物詩と言えば、よさこいですね。この時期は各チームが夜な夜な練習に取り組んでおり、そっと耳を澄ませばどこからともなくよさこい節が聞こえてくることも。なんだか街全体が、そわそわ・ワクワクするような空気感に包まれている高知市です。

SNSでも随時情報発信しています!

高知市の魅力や旬な情報、イベント情報など、移住・定住についての楽しい情報を随時お知らせしています!ぜひフォローやいいね!をお願いします!

高知市 × 移住



高知市公式Instagram
「暮らしにぼっちり高知市移住・定住」



高知市公式フェイスブック
高知市 × 移住「こうちらいふ」



イベント

ふるさと回帰フェア2024

年に1度、全国の移住窓口が東京へ大集合!国内最大級の移住マッチングフェアに出展します。



ふるさと回帰フェアとは「移住」や「地方暮らし」をテーマにした年に1度の祭典。全国約350の自治体・団体などが移住相談ブースを設け、約2万人が来場する国内最大級の移住マッチングフェアです。ふるさとの特産品などを販売する「日本全国ふるさとマルシェ」や、先輩移住者や講師の話が聞ける「ミニセミナー」も開催。移住にまつわるお金についてファイナンシャルプランナーに相談することもできます。都市と地方の新しい交流を楽しみながら、今のライフスタイルや将来について考え直すきっかけにしてください。

開催場所: 東京国際フォーラム (有楽町駅より徒歩1分・東京駅より徒歩5分)
開催期間: 2024年9月21日(土)~22日(日)の2日間

安全・防災

緊急避難場所のご案内

随所に整備されている緊急避難場所を事前に確認!

津波から一時的に避難するための建物や高台などを緊急避難場所といいます。「地区別津波避難計画」で高さや広さなどが確認されており、津波に対する安全性がより高い場所です。高知市内にはたくさんの指定があるので、最寄りの場所について確認しましょう。



自然地形の高台

水際や低地から離れた高い場所で、避難した後も危険を感じたら、さらに高いところへ逃げるすることができます。東日本大震災でも多くの方が高台に避難して命を守っています。



津波避難ビル

高さや耐震性などの条件を満たす建物を所有者と協定を結び、津波避難ビルに指定しています

※建物ごとに避難すればいいか
※避難場所:○○○
※注意点
・施設ごとに廊下や屋上など避難場所が決まっています。それ以外の場所に入ってはけません。
・人口の状況は、施設によって異なります。できるだけ事前に確認しておきましょう。



津波避難タワー



津波避難センター

自然地形の高台や津波避難ビルが少ないなど、避難が困難な地域では、津波避難タワー・津波避難センターの整備を行っています。



※避難場所等の詳細は高知市HP 地域防災推進課のページをご確認ください

スポット

美丈夫をゆったりたのしむ



ここだけの限定ボトルも取り扱う土佐の酒「美丈夫」のアンテナショップ。2Fには雰囲気抜群の隠れ家バーも!

2024年に創業120周年を迎えた濱川商店。その記念すべき年に、高知市追手筋1丁目にアンテナショップ「濱川商店 追手筋蔵」と「BAR夢許(ゆめばかり)」がオープン。1階は美丈夫やセレクトした高知県産品を販売するショップ。standing sake barもあり、週替わりで3種飲み比べセットが楽しめます。2階は本格的な日本酒バー「夢許」。落ち着いた空間で、ゆったりとした時間を過ごすことができます。

〒780-0842 高知県高知市追手筋1丁目10-1
濱川商店 追手筋蔵
11:00~19:30 (日曜9:00~17:30) / 088-856-7037
BAR 夢許
17:00~0:00 (日曜12:00~17:30) / 088-803-7221

制度・補助金

結婚新生活支援事業補助金

高知市で新生活をスタートするおふたりを応援するため、新居の家賃や引越費用を一部支援します。

結婚後の新生活の費用をお手伝いします

最大 30万円
親世帯と同居または近居の場合は 45万円

令和7年度 高知市結婚新生活支援事業補助金

対象 高知市で新生活をスタートするおふたり

条件 高知市パートナーシップ登録制度が有効であること

申請期間 令和7年3/31まで

お問い合わせ先 高知市こども政策課 ☎088-803-5067

高知市で新生活をスタートするおふたりを応援するため、新居の家賃や引越費用を一部支援します。

対象 2024年1月1日から25年3月末日までに同市で婚姻届を受理された夫婦か、パートナーシップ登録制度で登録証の交付を受けたカップルが対象

条件 どちらも39歳以下で、所得の合計が500万円未満などが条件。奨学金を返済している場合は所得から返済額を控除する。



令和7年
申請期限 3/31まで

「#高知市移住者図鑑」をスタートしました!



こんにちは!地域おこし協力隊の西條志志です。高知市に移住してきて2ヶ月と少し。高知にもだいぶ慣れたかなと思います。今月からぼっちり通信の編集を担当しています。さらに読み応えのある誌面になるように、企画・デザインを見直しました。気に入っていただけると嬉しいのですが...またご意見をお聞かせください。さて、高知市の移住・定住Instagramアカウント(@kochicity_ijuteiju)をご存じでしょうか。そこで、県外から高知市に移住された方を紹介していくコンテンツ「#高知市移住者図鑑」をスタートしました。移住者さんごどんな暮らしをして、どんな日々を過ごしているのかを、笑顔の写真と共に紹介しています。この企画が高知市に移住を考えている方の後押しになったり、移住者さんと地域の方や移住者同士がつながるきっかけになれば嬉しいです。どんどん取材を重ねていきますので、新規投稿を楽しみにお待ちください。移住者さんの情報もお待ちしています!

高知市地域活性推進課
移住・定住促進室 刊行



#高知市移住者図鑑
GUIDE OF MIGRATOR



@kochicity_ijuteiju



転入者アンケートにご協力をお願いします

高知市へ転入された方を対象に、転入窓口で「転入者アンケート」をお配りしています。

アンケートにご協力いただいた方の中から、抽選で毎月10世帯に「プラネタリウム鑑賞券」「よさこいWAON」「手作り鳴子キット」「よさこいポストカード」をプレゼントしています。アンケート用紙を窓口で受け取られていない方や紛失された方がいらっしゃいましたら、アンケートを再交付いたしますので下記までご連絡ください!

●「ぼっちり通信」は、移住相談会やイベント等でご相談いただいた方、高知市へ転入された際に転入者アンケートにお答えいただいた方の中から、暮らしに関する情報の送付を希望された方に定期的にお送りしています。●引越しをされた方、情報の送付を希望されない方は、お手数をおかけしますがご連絡をお願いします。●すでに高知市に転入された方については、原則として転入した月から2年間、お送りします。

高知市地域活性推進課 移住・定住促進室

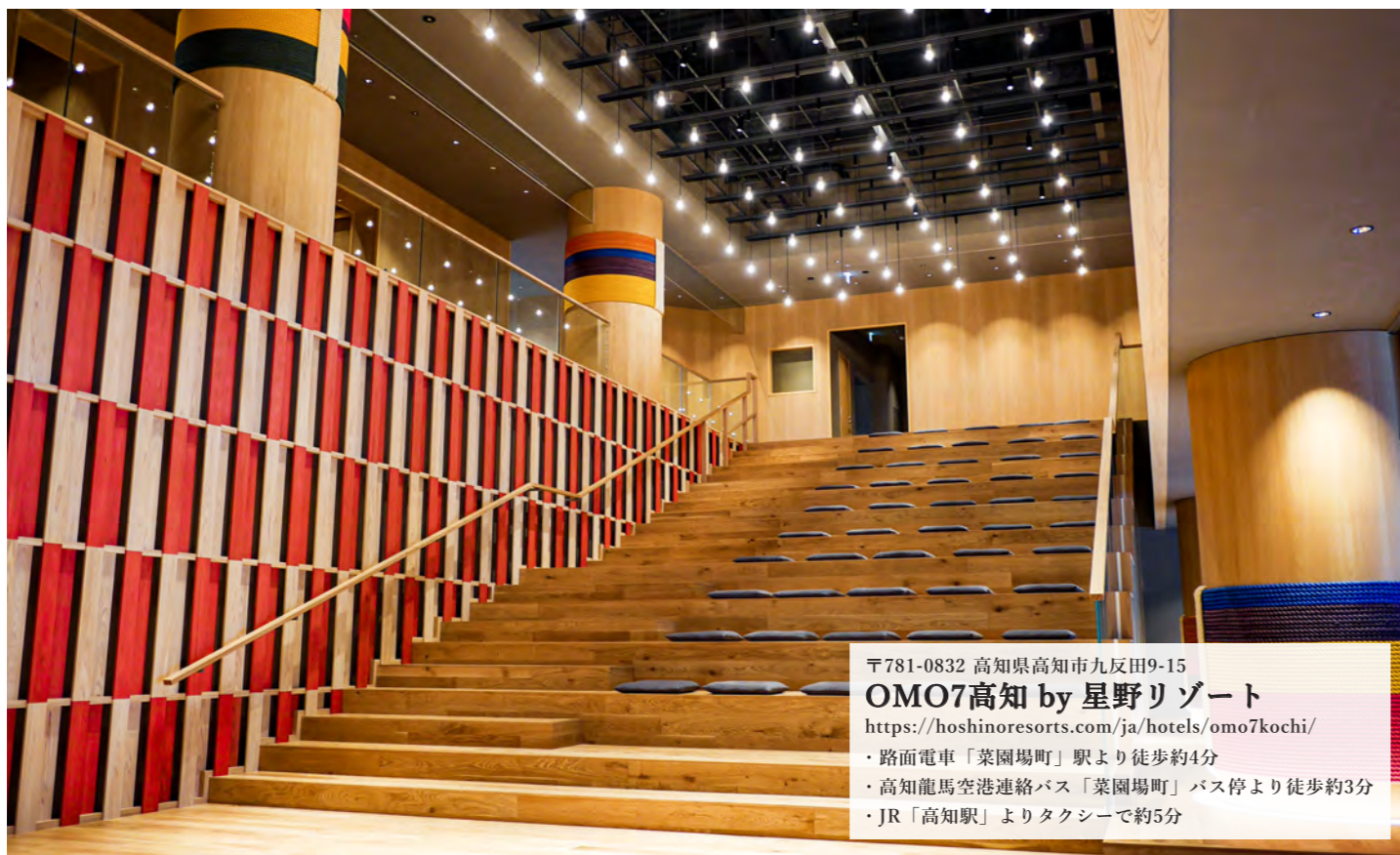
〒780-8571高知市本町5丁目1番45号本庁舎4階 Tel:088-823-8813 Fax:088-823-9382 Mail:kochi-life@city.kochi.lg.jp

高知市の移住・定住に関する情報は



NEWS

高知に来たら泊まりたい！ おもせぶん OMO7高知 by 星野リゾートが 6月13日グランドオープン！！



〒781-0832 高知県高知市九反田9-15
OMO7高知 by 星野リゾート
<https://hoshinoresorts.com/ja/hotels/omo7kochi/>
・路面電車「菜園場町」駅より徒歩約4分
・高知龍馬空港連絡バス「菜園場町」バス停より徒歩約3分
・JR「高知駅」よりタクシーで約5分

エントランスの扉を入ると、ドーンと目に飛び込んでくる大階段。ここは「OMOベース」と呼ばれる、多目的な大フロア。ホテルスタッフによる高知の歴史や文化に触れる催しが毎日開催され、宿泊客はもちろん地元の人たちが腰掛けてお話をしたりと、まさにホテルに活気を生み出す賑わい拠点となっています。キーワードは「コミュニケーション&交流」。初めて高知を訪れる人も、高知の魅力に惹かれたリピーターさんも、高知に住んでいる現地の人も、ここに来れば新しい高知の魅力に出会える。そんな場所。高知への移住を考えている方も、ぜひここを訪ねている人との会話や情報収集を楽しんでください！



よさこい楽宴LIVE
毎日21:00～21:30の間に開催される、大迫力のよさこいショー。オリジナル演舞の合間には、振り付け講座やステージでの踊り体験もあって楽しい！客席にセットされた鳴子をみんなで鳴らしながらの観覧は、会場が一体となってテンション最高潮まちがいなし！



1Fにはカフェやショップ、大テーブルや本棚も設置。宿泊客だけでなく、地域の人たちも利用して、交流が生まれています。

Check Point!

-OMO7高知がおもしろい理由はここ-

コンセプトは「こじゃんと^{らくえん}楽宴 さあ、夜さ来い！」
空間や催しを通じて高知の宴会文化にじっくり親しむことができる。



1 星野リゾートが全国展開するOMOブランドのホテル！

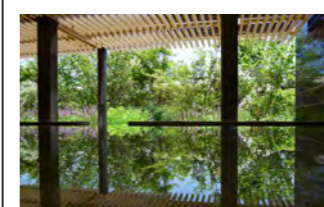
テンションあがる「街ナカ」ホテルがコンセプトの、新感覚ホテル。街をこよなく愛するスタッフが地域の方々と連携し、食事や客室、アクティビティまで、その街の魅力がちりばめられた宿泊体験を楽しむことができます。OMO7高知を通じて、思いもよらない高知の人・食・文化の魅力に出会えるはず。そして、知らず知らずのうちにホテルだけでなく、高知の街までお気に入りになること間違いなし！

「おきゃく」がテーマの楽しい客室に宿泊できる！

2 高知の宴会と言えば、大皿に盛られた皿鉢料理(さわちりょうり)が代名詞。その大皿をモチーフとしたテーブルを囲んで座れば、そこはもう高知の宴会場に早変わり。せっかくの夜だから、ちょっと夜更かしを楽しくお酒を酌み交わして語り合うのもいい思い出に。



おきゃく文化をお部屋で体験できる「酔っちょれセット」も注文できる。仲間で宴会を楽しもう！



3 高知にどっぷり浸かりながら汗を流せる大浴場&露天風呂！

5Fに位置する「トサノユ」は、注目ポイントがいっぱいの大浴場&露天風呂。檜をふんだんに使った空間は、足を踏み入れた途端に癒やしの香りに包まれます。大浴場には鍵山染工場の協力のもと、高知の伝統工芸品「フラフ」をモチーフとした壁画が描かれています。露天風呂は、土佐の原風景を再現した四季折々の草花が美しい風景を描く庭園が囲まれます。サウナや、湯上がり処の柑橘や生姜を使った飲み物など、リラックス&リフレッシュを全身で満喫できます。



4 スタッフが自らの足で情報を集めるローカル色の濃いご近所マップ！

OMO7高知 by 星野リゾートのスタッフが大切にしていることは、現地の人たちとの関係性を築くこと。自らホテル周辺や高知の街を散策し、魅力あるスポット探しをしています。そんな生の情報に彩られたマップは、観光ガイドとはひと味もふた味も違う生きた情報がたくさん。高知散策前には必ずチェックがオススメ！知りたい情報はぜひスタッフに訪ねてみてください。ここに掲載されていないマル秘情報もこっそり教えてくれるかも！？

5 高知の味わいに舌鼓！

高知の食材をお腹いっぱい味わうことができるビュッフェスタイルの食事。高知名物「鰯の薬焼き」の実演調理や、旬の食材が揃うテーブルは目移りすること間違いなし。大皿に色とりどりの料理を盛りつけ、My皿鉢(さわち)料理を仕上げましょう！



6 高知の魅力を知り尽くしたホテルスタッフの通称が「オモレンジャー」。1Fの大階段フロアでは、毎日「土佐のおきゃく講座」が開催されています。日曜日には高知観光を代表する日曜市を巡るツアーの引率も勤めるなど、OMOレンジャーの活動でどんどん楽しい宿泊体験が生まれています！



OMOレンジャーの愉快的講座！



7 高知大好き。踊るの大好き。沖縄から来た木村さん！

「ここを拠点に高知の街全体を盛り上げたい」満面の笑顔で語ってくれた木村さんは、フロントスタッフを担当しながら「よさこい楽宴LIVE」ではリーダーを務める頼もしい存在。よさこいが踊りたくて、沖縄勤務から志願してOMO7高知に移動したという根っからのお祭り女子。高知は本当に人が優しく、すぐに馴染むことができたのだそう。「私が体験したい高知の魅力を、次は私がお客さまに伝えていきたい」とメッセージをいただいたので、OMO7高知を訪れた際はいろいろ尋ねてみてください！

KURASU ni BOTTIRI